

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年9月29日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: スタンフォード大学 現地言語: 英語
留学期間	2022年6月～2022年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	特定の学年は決まっていなかった 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月1日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期:6月～8月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	夏休み期間だったため不明です
創立年	1885

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	\$ 11,097	円	
宿舍費	\$ 2,843	円	Housing technology fee 含む
食費	\$ 1,652	円	週15回分
図書費		円	特になし
学用品費		円	特になし
携帯・インターネット費	\$ 60	円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	特になし
被服費	\$ 150	円	
医療費		円	特になし
保険費	\$ 1,548	円	形態:Health Insurance
渡航旅費	\$ 1,600	円	目安
ビザ申請費	\$ 160	円	
雑費	\$ 232	円	Campus Health Service Fee
その他		円	
その他		円	
合計	\$ 19,342	¥ 2,795,000 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:サンフランシスコ 経由地:

復路 出発地:サンフランシスコ 目的地:成田 経由地:

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:JAL

料金:¥24,000(目安)

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:) インターネット(サイト名:) その他(大学を通して購入)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Branner Hall) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学から提供。IHP プログラムは決まった宿泊先。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮には色々な国からの人がいて、たくさんの異文化交流ができます。友達を作る機会も、イベントなども多く、このプログラムの魅力だと感じました。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

ルームメイトなどからの情報を得て危ないところなどは極力避けました。また、一人だけで出かける、夜に外出するのを避けていました。特に危ない目には合いませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

到着後数日で三ヶ月間の SIM カードを入手し、外ではそれを使っていました。大学内や、寮のはインターネットは普通でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

前もってドルを少し日本で両替し、それをもって行きました。現地では主にクレジットカードを使っていました。正直、現金はもうあまり利用することはありませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になかったです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

奨学金で行ったため、大学側が管理していました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 8単位以上	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Food, Sustainability, and Culture	食物の持続可能な文化
科目設置学部・研究科	Department of Sociology
履修期間	6月-8月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Belinda Ramirez
授業内容	フードシステムについての学祭的な知識を習得する授業でした。毎日の食の選択と持続可能性を評価し、その分野における姿勢を高める内容でした。
試験・課題など	試験はありませんでした。その代わりに8週間にわたり計4回の 800 文字程度のレポートと最後に研究レポート(8ページ程度)がありました。
感想を自由記入	読む課題やレポートは大変でしたが、とても興味深く、学ぶことが多かった授業でした。ディスカッションも多く、新しい視点がたくさんありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Greek and Latin Roots of English	ギリシャ語とラテン語からみる英語のルーツ
科目設置学部・研究科	Department of Classics
履修期間	6月-8月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Ian Tewksbury
授業内容	古代ギリシャ語とラテン語の語根の学習を通し英語の理解力を高める授でした。
試験・課題など	毎週、1回授業の始まりに小テストがありました。また、中間試験、期末試験がありました。
感想を自由記入	英語の歴史や、言葉の成り立ちなどを学ぶことができ興味深く学べました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Living on Purpose	人生の目的
科目設置学部・研究科	Department of Medicine (Health&Human Performance)
履修期間	6月-8月
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Katia Sol
授業内容	より豊かな人生を送るために必要な目的発見の技術と科学について探究する授業でした。
試験・課題など	試験はなく、毎週小さな課題や読む課題が多かったです。最終日はプレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	メンタルヘルスなどの問題などについて学ぶことが多く、とても考えさせられる授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Tennis (Beginning)	テニス(初級)
科目設置学部・研究科	Department of Medicine (Health&Human Performance)
履修期間	6月-8月
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	アクティビティ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Matthew Thornton
授業内容	テニス初級のスキルの獲得を目指す授業でした。
試験・課題など	試験はありませんでしたが、計3回提出する感想文やスポーツに対する意識確認のミニレポートがありました。
感想を自由記入	勉強が大変な間、体を動かしながら、友達もできとても楽しかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

マイナビ、リクナビ、linkedin

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

まだ未定です。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は3年の夏に行ったため、就職活動に関しては早期にスタートできませんでしたが、秋からでも十分間に合うと感じました。不安もありましたが、私は行って得た経験の方が大きいと思いました。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS 勉強
	10月～12月	IELTS 試験、学内選考書類提出
留学開始年	1月～3月	出願書類作成、ビザの申請・取得、
	4月～7月	予防接種、滞在先の確保、授業履修、航空券購入、
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

スタンフォード大学を選んだ理由はアメリカのトップクラスの大学で勉強し、挑戦してみたいと思ったからです。明治大学の留学トップユニバーシティにはいくつかの選択肢がありましたが、その中でもスタンフォード大学では私にとって興味深い授業があり、それも選んだ理由の一つです。実際に行ってみて、キャンパスはとても歴史があり、広くて綺麗でした。キャンパス内にはいくつかの美術館もあり、自由に見学することもできました。また、スポーツ施設も充実しており、たくさん活動することができます。キャンパス内で様々なことができるのは大きな利点だと感じました。勉強面では、日本の大学の授業とは形態が違い、ディスカッションやディベートが多くあり、聞く力、話す力が必要だと感じました。ただ、英語に自信がなくても積極的に参加していくことで段々と理解も深まっていき、周りもサポートしてくれて、自信がついてくると思います。また、個人的にこのプログラムの一番の魅力は寮生活だと感じました。色々な国の方々との交流もあり、一語に長い時間を過ごすことによって異なった価値観や風習を知ることができます。日本についても発信する機会もたくさんあるので、日本の理解をきちんとし、それを英語でできるように準備しておくのがとても重要だと感じました。友達も知らない間にたくさんできます。寮のイベントや、授業などにどんどん参加していくことによって機会も増えます。授業の多くには読む課題、書く課題があり、日本の大学には比べられないほど量がありました。なので、予習をする時間をもつこともとても大事です。大学の授業、イベントへの参加など毎日とても忙しくなりますが、タイムマネージメントを自分でしっかりとコントロールできるようにすることも必要だと感じました。大学には綺麗な図書館もたくさんあるので、それを活用して勉強できる環境も整っています。